

# あまが咲

2024

2月

No.117

 兵庫県立尼崎総合医療センター  
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



[診療科紹介]

小児アレルギー科

[部門紹介]

情報管理部

これらのスイッチが  
院内にある3,000台の  
コンピューターの通信を  
担っています

表紙写真撮影/経営企画部 T.I.

- [AGMCニュース] ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸様からプレゼントをいただきました
- [ぶらり~っと病院探訪] アンギオ室の紹介
- 能登半島地震被災地へDMATを派遣

## 小児 アレルギー科

# 子どものアレルギーで お困りではないですか？

小児アレルギー科は近年増加する子供のアレルギー疾患を診断・治療する科です。近年アレルギーの治療は新薬の登場等により大きく様変わりしてきています。今までコントロールが難しかった重症例にも対応できるようになってきていますのでお困りの方はご相談ください。

### 構成メンバー

小児科医4名(常勤2名・非常勤2名)  
常勤 飯尾 潤、高原賢守  
非常勤 清益功浩、西濱扶生子



飯尾 潤



高原 賢守



清益 功浩



西濱 扶生子

### 提供する主な活動内容

#### 対象となる疾患

- 食物アレルギー**:血液検査や経口食物負荷試験を行い必要最小限の食物除去を基本に安全な食生活を送れるよう完全解除を目指して診断・指導を行います。必要な症例には積極的にエピペンの処方や指導を行います。
- 気管支喘息**:内服・吸入を中心とした「発作ゼロ」を目指す治療を行います。近年ではそれに加えて難治例の重症喘息患者に対して複数の生物製剤を使い分けることでより良い治療効果が得られるようになってきています。
- アトピー性皮膚炎**:スキンケアと外用療法を中心に内服薬等も併用しながら乳児期早期から皮疹の治療・コントロールを行い、湿疹を成人期に持ち越さないようにする事を目標としています。難治例には生物学的製剤も併用することで皮膚症状の改善がみられるようになってきています。
- 花粉症・アレルギー性鼻炎**:内服・点鼻治療を行い症状の軽減に努めています。最近では経口免疫療法や生物学的製剤を導入することで症状の緩和や体質改善効果も得られるようになってきています。



### 患者さんや 地域医療機関へのメッセージ

アレルギー疾患は日々の生活に大きな影響を与えます。近年アレルギー治療は大きな進歩を遂げており、今までなかなか治らなかった患者さんでも改善が見込める可能性が高まっています。少しでもお力になればと思いますのでお気軽にご相談ください。



## 情報管理部

# 医療者と患者さんの橋渡し役

情報管理部は、患者さんと直接接する機会はありませんが、医療情報システムを通して患者さんの利便性向上、より良質な医療を受けられる環境の構築、医療従事者の方々の業務効率化を目指すなど、医療者と患者さんの橋渡し役となるよう尽力していきます。



医療情報担当部長兼循環器内科部長  
宮本 忠司 医師



### 構成メンバー

医師2名(医療連携・医療情報担当副院長、医療情報担当部長)  
医療情報課長／医療情報職員3名  
看護師1名(看護部兼務)／診療放射線技師1名  
会計年度任用職員3名／システム運用業務委託職員8名

### 提供する主な活動内容



システム運用業務委託職員との定例会議

病棟看護師用の  
クリニカルフロー

昨年度、新たな文書管理・統合診療支援システムを導入し、様々な職種のスタッフが個々の患者様の入退院支援やチーム医療にまつわる情報を一目で参照、更新が行えるようにしました。当センターにおける医療DXの推進にも積極的に参画し、スマートフォンやタブレットを利用した様々なシステムの導入も予定しています。また兵庫県警察を招いての情報セキュリティセミナーや外部講師を招いての個人情報保護セミナーを通じて、院内スタッフ全体のITリテラシー底上げにも注力しています。

患者さんや  
地域医療機関への  
メッセージ

情報管理部では、地域の皆様に安心して受診していただけるシステムの企画・検討・導入を行って参ります。また、地域の関連施設様とのより一層の情報共有を目指していきます。





# ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸様からプレゼントをいただきました

AGMC ニュース



クリスマスを前にした12月21日(木)、ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸様より5階東病棟の子どもたちにプレゼントが届きました。

サプライズで事前のお知らせはせず、プレイルームに絵本やぬりえ・文房具などを準備し、子どもたち自身にプレゼントを選んでもらいました。いつもと違うプレイルームの様子に、初めは戸惑ったり恥ずかしそうにしていた子どもたち。ご家族と一緒にプレゼントを選ぶうちに少しずつ笑顔が見られるようになり、最後にはサンタさんと一緒に記念撮影をする子もいました。

子どもたちの嬉しそうな様子に、大人にも笑みが溢れていました。

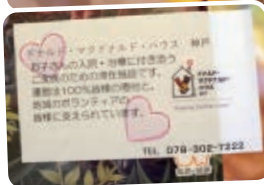
今後も継続して「ちいさなギフト」(日用品・文房具・おもちゃ等)をカートに載せてお届けいただく予定となっております。ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸様、そしてご協力いただいた皆様のご支援に心より御礼申し上げます。



プレゼントは、全て寄付によるもの  
今回の絵本は、元本屋さんの方から  
難病に苦しむ子どもたちの手に  
直接渡って欲しいとの思いで  
寄贈があったとの事



プレイルームに来られない  
子どもたちには  
病室でプレゼントを  
選んでもらいました



ドナルド・マクドナルド・ハウス・  
チャリティーズ・ジャパンの  
ホームページはこちら  
<https://www.dmhj.or.jp/>



ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸  
のXはこちら  
[https://twitter.com/dmh\\_kobe](https://twitter.com/dmh_kobe)

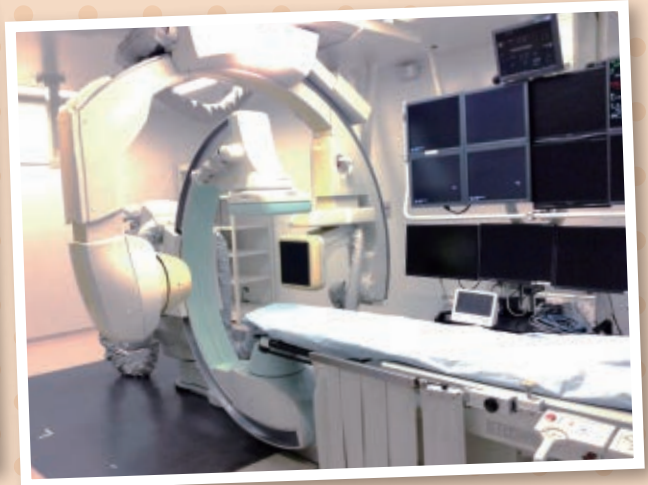


今回はアンギオ室の紹介をしていきたいと思います。

アンギオとは、X線と造影剤を用いて血管の形状や異常、腫瘍への血管や血流の状態を検査・治療する方法や機器の事で、アンギオ室ではカテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入し、目的血管の検査や治療を行っています。

当院のアンギオ室にある血管撮影装置は心臓用3台、汎用型1台の計4台備わっており、汎用型はCTを撮影することができます。

またアンギオ室の他にハイブリッド室（血管撮影室がある手術室）も備わっており、この部屋では従来アンギオ室で行っていた手技をより安全かつ高度に行うことができます。



# 能登半島地震被災地へDMATを派遣

当センターのDMAT（災害派遣医療チーム）が、令和6年能登半島地震をうけ、石川県の要請により出動しました。

当院からは1月14日～17日、1月30日～2月2日の2回にわたって、医師や看護師など計11人のスタッフを被災地へ派遣しました。

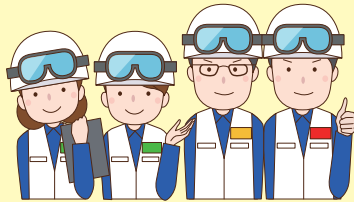
金沢市内にある活動拠点本部を中心に、病院支援や搬送支援、患者一時待機センターの運営等に従事しました。



【第1隊】医師1名、看護師2名、薬剤師1名、運転員1名



【第2隊】医師1名、看護師2名、放射線技師1名、運転員2名



一時待機センターでの活動の様子



編集  
後記

暖冬といわれてもやっぱり寒い2月ですね。

今年はやっと新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあると思ったら、お正月から災害や事故があり、日頃からの備えや訓練の大切さを実感しています。また起こってしまったことに対しては、みんなで力を合わせて乗り越えていくしかないと思っています。

もう少ししたら気温が上がり美しい桜が咲く季節がやってきます。病院も常に皆さんの期待に応えられるような準備をしながら春を待ちたいと思います。(K.Y.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索